

すまいをトークは木造住宅を中心に、住まいに関することを建築士を交えて学ぶ会です



すまいをトーク

“心地よい暮らしを探る”

すまい **再** 発見!!

背景木：スギ

第19期 2024年4月開講



◆ 2024年度日程 ◆

當麻寺と当麻の里

- | | | |
|------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 4月 7日 (日) | 近江・大津に“芭蕉の足跡”を巡る! | 【JR琵琶湖線「石山」駅 12時20分集合】 |
| 5月18日 (土) | 国宝・重要文化財の宝庫、中将姫ゆかりの「當麻寺」見学・参拝 | 【近鉄南大阪線「当麻寺」駅 13時集合】 |
| 6月13日 (木) | 町につながる、長屋暮らし | 【大阪市立住まい情報センター18時30分～】 |
| 7月20日 (土) | コモンシティ星田と八木邸 | 【京阪電車「香里園」駅 A班12時30分、B班13時30分集合】 |
| 8月 8日 (木) | 今昔館の住まい学習 | 【大阪市立住まい情報センター18時30分～】 |
| 9月12日 (木) | 阪神間モダニズム建築と文学 | 【大阪市立住まい情報センター18時30分～】 |
| 10月19日 (土) | 高砂ロマン探訪 | 【山陽電鉄「高砂」駅 13時集合】 |
| 11月16日 (土) | 神戸・舞子公園の文化財建築と明石海峡大橋を訪ねて | 【JR神戸線「舞子」駅 13時集合】 |
| 12月 7日 (土) | OP 摂津富田町の歴史散策 | 【JR京都線「摂津富田」駅 13時集合】 |
| 12月12日 (木) | 祇園祭の山鉾「鷹山」復活 | 【大阪市立住まい情報センター18時30分～】 |
| 【2025年】 | | |
| 1月 9日 (木) | より住みよく、より美しい住宅建築を目指して | 【大阪市立住まい情報センター18時30分～】 |
| 2月13日 (木) | 建築士の心に残る名建築（続編） | 【大阪市立住まい情報センター18時30分～】 |
| 3月16日 (日) | 石清水八幡宮と松花堂庭園・美術館 | 【京阪電車「石清水八幡宮」駅 10時集合】 |

主催 すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>

申込み・問い合わせ 事務局 並平 文清 E-mail: contact@sumai-talk.info

TEL: 090-7106-1591



■すまいをトーク 2024

「すまいをトーク」は、関西を中心に活躍している建築士・職人さんなど有志が、「すまいに関心があっても、市民がじっくり学べる場が少ない」という声に応え、誰でも参加できるセミナーとして企画されました。今年度で19年目を迎えます。

今年度も“心地よい暮らしを探る”をテーマに、座学では、「町につながる、長屋暮らし」、「今昔館の住まい学習」などの講座を行います。また、秋には「高砂ロマン」も探訪します。

これらの講座や見学・体験を通じて、皆様方と一緒にすまいや建物について考えていきたいと思っております。今年度も多彩な内容をお楽しみくださるよう、例会へのご参加をお待ちしております。

なお、見学・体験の講座につきましては、事前にお申込みいただきますようお願い致します。

活動内容については、HPをご覧ください。



2023年5月 京都・奥嵯峨



2023年6月 槍砲の実演と体験



2023年11月 播州金物の町・三木

すまいをトーク

検索



■会費

1. 年会費（一般）：全12回 12,000円
2. 年会費（過去の下記講座の年会費納入者）：全12回 10,800円
[すまいをトーク・町家をトーク]
3. 単回参加費：1回（一般）1,500円（学生）1,000円
4. オプションツアー参加費：500円
5. 見学講座は別途、交通費、施設入場料、昼食代等が必要になります。

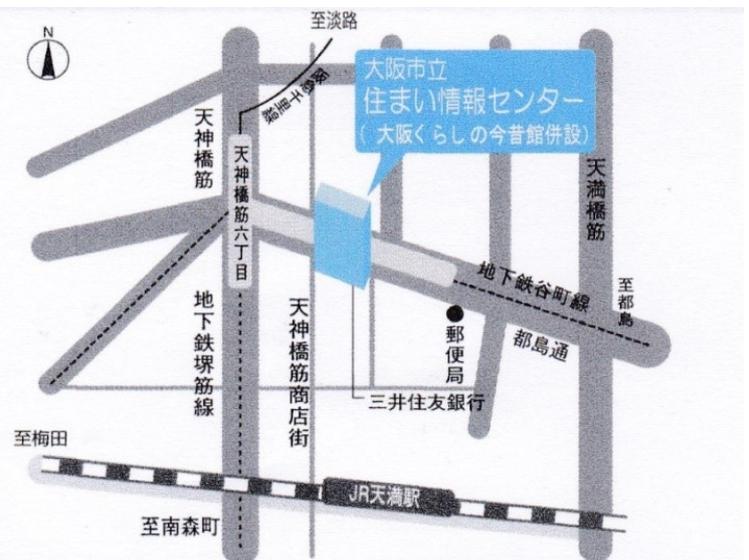
■会場(座学)

大阪市立住まい情報センター 5階研修室

大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ(地下鉄)谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅 3号出口をご利用ください。
JR環状線「天満」駅からは北へ約650mです。

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

講座時間(座学):18時30分~20時30分



(大阪市立住まい情報センター冊子より)

■地下鉄谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅3号出口をご利用ください。
■JR環状線「天満」駅からは北へ約650mです。

**“心地よい暮らしを探る”
2024年度 すまいをトーク 日程表**

日程			講座内容	講師	会場(集合時刻、場所)	
第1回	2024年 4月	7日 (日)	見学	近江・大津に“芭蕉の足跡”を巡る!	牧 彰 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所: JR琵琶湖線「石山」駅改札口 集合時刻: 12時20分 雨天決行 歩行距離: 約5km 交通費別途 入山料: 1,000円+300円
第2回	5月	18日 (土)	見学	国宝・重要文化財の宝庫、中将姫ゆかりの「當麻寺」見学・参拝	並平 文清 氏 (すまいをトーク代表)	集合場所: 近鉄南大阪線「当麻寺」駅改札口 集合時刻: 13時 雨天決行 歩行距離: 約2km 拝観料等: 1,700円
第3回	6月	13日 (木)	座学	町につながる、長屋暮らし	連・建築舎代表 伴 現太 氏	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第4回	7月	20日 (土)	見学	コモンシティ星田と八木邸	松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所: 京阪電車「香里園」駅改札口 集合時刻: A班12時30分 B班13時30分 雨天決行 歩行距離: 約2km 交通費別途 見学料: 1,000円 定員: 30名会員優先着順
第5回	8月	8日 (木)	座学	今昔館の住まい学習	大阪くらしの今昔館 学芸員 服部 麻衣 氏	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第6回	9月	12日 (木)	座学	阪神間モダニズム建築と文学	堀 久樹 氏 (兵庫県ヘリテージ・マネジャー世話人)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第7回	10月	19日 (土)	見学	高砂ロマン探訪	現地ボランティア ガイド	集合場所: 山陽電鉄「高砂」駅改札口 集合時刻: 13時 雨天決行 歩行距離: 約3.5km
第8回	11月	16日 (土)	見学	神戸・舞子公園の文化財建築と明石海峡大橋を訪ねて	北川 弘 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所: JR神戸線「舞子」駅改札口 集合時刻: 13時 雨天決行 歩行距離: 約3km 見学料: 1,000円程度(予定)
オプション ツアー	12月	7日 (土)	見学	摂津富田町の歴史散策	摂津富田町歴史 案内人 三宅 清 氏	集合場所: JR京都線「摂津富田」駅改札口 集合時刻: 13時 雨天決行 歩行距離: 約4km 参加費500円 拝観料 500円
第9回	12月	12日 (木)	座学	祇園祭の山鉾「鷹山」復活	末川協建築設計 事務所 主宰 末川 協 氏	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第10回	2025年 1月	9日 (木)	座学	より住みよく、より美しい住宅建築を目指して	梅田 誠亮 氏 (すまいをトーク運営委員)	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第11回	2月	13日 (木)	座学	建築士の心に残る名建築(続編)	(株)松村設計 代表取締役 松村 和吉 氏	大阪市立住まい情報センター 5階研修室 18時30分～20時30分
第12回	3月	16日 (日)	見学	石清水八幡宮と松花堂庭園・美術館	松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)	集合場所: J京阪電車「石清水八幡宮」駅改札口 集合時刻: 10時 雨天決行 歩行距離: 約3 km 入園料等 1,760円 昼食: 各自で

主 催 すまいをトーク <http://www.sumai-talk.info/>
申込み・問い合わせ すまいをトーク事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info TEL 090-7106-1591

会費 ①年会費(一般): 全12回 12,000円 ②年会費(過去のすまいをトーク・町家をトークの年会費納入者): 全12回 10,800円
③単回参加費: 1回 一般1,500円 学生1,000円 ④オプションツアー参加費: 500円 ⑤見学講座は、交通費・入場料・昼食代等が別途必要になります。 ※日程・講師・講座内容は変更になる場合もあります。また、荒天時は中止になる場合がありますので予めご了承ください。



第1回 2024年4月7日(日)

【見学】

近江・大津に“芭蕉の足跡”を巡る!

○案内人：牧 彰 氏 (すまいをトーク運営委員)



- 1940年 東京生まれ
- 一級建築士



幻住庵 (HPより)

＜幻住庵＞ 先ず頼む 椎の木も有り 夏木立

「石山の奥、岩間の後ろに山あり、国分山という・・・」で始まる『幻住庵』は、松尾芭蕉のここでの庵住の生活の中から生まれた。『奥の細道』の旅の翌年の元禄3年(1690)の約4カ月の間、芭蕉は近江の門人で膳所藩士・菅沼外記定常(曲水)の伯父の菅沼修理定知(幻住老人)がかつて暮らしていた庵に滞在した。

ここでの生活の様子や、それまで辿ってきた芭蕉の俳諧道の心境などを述べたのが『幻住庵記』であり、『奥の細道』とならぶ俳文の傑作とされている。そして、結びにおかれている「先ず頼む椎の木も有り夏木立」の句に詠まれた往時を偲ぶかのように、現在もなお、周辺に椎の木が多く残っている。

また、記の中で「谷の清水を汲みてみづから炊く」と述べられている清水も、今なおこんこんと湧き出ており、芭蕉の思いを伝えているようである。この庵を出てからもなお、曲水への手紙の中で、もう一度幻住庵を訪れたいと述べているように、芭蕉にとって幻住庵は忘れがたい地であった。現在の幻住庵は、芭蕉が生涯の地とした大津を広く紹介する「ふるさと吟遊芭蕉の里事業」により、平成3年9月に新たに建てられたものである。

＜石山寺＞ 石山の 石にたばしる 霰かな

俳句は連歌から生まれたが、その連歌の歴史の中で石山寺の果たした役割は大きく、「石山音韻」がよく知られている。芭蕉の句に出てくる石は天然記念物の珪灰石で、石山寺の名前の由来にもなっている。平安時代には観音霊場として有名になり、貴族女性が多く訪れ、紫式部はここで『源氏物語』の想を練ったといわれる。

この度、紫式部が参籠した源氏の間が縁で、今年「大河ドラマ(光る君へ)館」開館の運びとなる。

＜義仲寺＞ 行く春を 近江の人と 惜しみける

『奥の細道』の長旅から帰った芭蕉は、元禄2年(1689)12月から元禄4年(1691)9月までの長期間大津に滞在したが、その間の仮宿となったのが義仲寺の無名庵と国分山の幻住庵である。義仲寺は木曾義仲を葬った塚のある処で、木曾塚とも呼ばれたが、この義仲寺や無名庵に暮らしながら、芭蕉は湖南の門人に俳句の指導をしていた。

芭蕉は元禄7年(1694)10月大坂にて客死したが、その遺骸は義仲寺境内に埋葬されていて、遺言には「ここは東西の巷、漣清き渚なれば、生前の契り深し所なり」と記されている。

順 路：JR琵琶湖線「石山」駅⇒バス停「幻住庵」・近津尾神社境内(幻住庵・とくとくの清水)～石山寺境内散策・大河ドラマ館～石山寺山門前⇒京阪「石山」⇒「膳所」～義仲寺～JR琵琶湖線「膳所」駅

Eメール contact@sumai-talk.info

◇日 時： 4月7日(日) 12時20分～17時20分頃

◇参集地：JR琵琶湖線「石山」駅改札口 12時20分集合

(昼食は事前に済ませておくこと)

雨天決行 歩行距離約5Km

◇費用：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円

入山料：石山寺1,000円(大河ドラマ館の入館を含む)

義仲寺300円(25名以上250円) 交通費別途

◇申込み先：すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)

E-mail: contact@sumai-talk.info

TEL: 090-7106-1591

◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)

090-5046-9800(中村)

4月7日(日)

すまいをトーク参加申込書

氏名

TEL

4月4日までにメールかTELをお願いします



第2回 2024年5月18日(土)

【見学】

国宝・重要文化財の宝庫、中将姫ゆかりの「當麻寺」見学・参拝 ～ 當麻寺僧侶によるご案内と、重文書院でのお抹茶も～

○案内人：並平 文清 氏 (すまいをトーク代表)



1956年生まれ
7年前に手に入れた吉野町宮滝にある古民家の補修と
菜園管理、山歩き等を楽しみに足しげく別宅に通っている。
その他三線、習字、すまいをトーク、飲酒会合等楽しく
充実した老後の日々を送っている。



二上山東麓に静かにたたずむ名刹「當麻寺」。奈良、京都の有名寺院に見られる雑踏とは無縁の
落ち着いた雰囲気醸す古刹です。古代創建の東西兩塔が当時の姿のまま現存する日本唯一のお寺
でもあります。もちろん、兩塔共に国宝で、境内は堂宇、仏像、梵鐘等国宝、重要文化財が目白押し
です。

今回は、當麻寺僧侶によるご案内で境内をくまなくめぐります。(90分～120分)、僧侶案内の合間
には、当会運営委員の牧彰氏による堂塔建築等に関する解説も入りますのでご期待ください。見学終了
後、當麻寺の最も古い塔頭である「中之坊」書院(重要文化財)でお抹茶を頂きます。

- 本堂(曼荼羅堂 国宝 奈良～平安末期)
内陣の須弥壇(国宝～源頼朝寄進)の上に巨大な厨子(国宝～天平期)がのせられ、中に本尊の當麻
曼荼羅(国宝～但し損傷が激しく別保管。飾られているのは文龜本か貞享本(いずれも重文))が収め
られている。
- 金堂(重文～鎌倉期)
本尊は弥勒仏座像(国宝～白鳳期)。周囲を守る四天王(重文)のうち三体は日本最古の乾漆像である。
- 講堂(重文～鎌倉期)
鎌倉期の再建であるが作風は奈良・平安期に近い。金堂とともに南面鎮座である。元々当寺は南北
を軸とした伽藍であったと考えられている。
- 東塔(国宝～奈良時代)
三重塔。初重は柱間三間で二重、三重を二間とする。国内の三重塔は、通例初重から三重まで
三間としており、本塔の建築様式は異例といえる。
- 西塔(国宝～平安期)
三重塔。主要材は檜と思われる広葉樹材が使われており、古塔としては異例である。最近大規模
修繕が完了した。



順路：近鉄南大阪線「当麻寺」駅～當麻寺(僧侶案内による境内見学・参拝及び終了後のお抹茶)～
時間があれば當麻集落散策～「当麻寺」駅16：30頃解散

◇日時：5月18日(土) 13時00分～16時30分頃
 ◇集合場所：近鉄南大阪線「当麻寺」駅改札口
 13時集合 雨天決行 歩行距離約2Km
 ◇費用：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
 拝観料等：1,700円(僧侶案内拝観1,200円、お抹茶500円)
 ◇申込み先：すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)
 E-mail: contact@sumai-talk.info
 TEL: 090-7106-1591
 ◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)
 090-5046-9800(中村)

Eメール contact@sumai-talk.info

5月18日(土)	
すまいをトーク参加申込書	
氏名	
TEL	

5月15日までにメールかTELをお願いします



第3回 2024年6月13日(木)

【座学】

町につながる、長屋暮らし

ばん げんた

○講師：伴 現太氏(連・建築舎代表)



大阪市出身。
2000年北海道大学建築工学科卒。
安藤建設、ヘキサを経て、2007年
連・建築舎設立。
2011年に阿倍野区桃ヶ池の築90
年の4軒長屋(通称：桃ヶ池長屋)
へ事務所兼住まいとして移転。



オープンナガヤ大阪参加

日本一のノッポビル「あべのハルカス」のふもと、大阪市阿倍野区の昭和8年築の長屋で設計事務所を構えています。以前は大阪城のある官公庁街からほど近い中央区の谷町六丁目で設計事務所を構えていましたが、2011年秋に結婚と出産予定を機に妻が営む飲食店と私の事務所、さらに住居となりえる物件を探していたところこの長屋にたどり着き、住みながら1年ほどかけて自主改修して飲食店も開店、現在に至ります。



アベノ洋風長屋

○講義内容

- ◆ 4軒長屋の桃ヶ池長屋
- ◆ 昭和町～田辺界隈の近代長屋
- ◆ 小商いの町への取り組み
- ◆ 昭和のまちのバイロカル運動
- ◆ 三角屋根の5軒洋風長屋の再生
- ◆ まちで建築の仕事をするということ

- ◇ 会場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時間：18時30分～20時30分
- ◇ 参加費：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主催 申込み先：すまいをトーク事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇ 相談窓口：すまいに関する個別相談に対応していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



第4回 2024年7月20日(土)

【見学】

コモンシティ星田と八木邸

○案内人:松村 和吉 氏(すまいをトーク運営委員)



- (株)松村設計 代表取締役
- 1951年 大阪生まれ
 - 1991年 株式会社松村設計設立
 - 大阪府建築士会「建築士の会 南河内幹事」
 - 大阪府建築士事務所協会第四支部相談役
 - 大阪府建築士会耐震部会代表幹事
 - 堺市木造耐震診断員
 - 一級建築士

八木邸

1930(昭和5)年竣工の八木市造邸は、大阪で綿花・綿糸・絹織物業を商売とした八木市造と家族のために建てられた木造二階建て住宅です。自邸「聴竹居」で著名な建築家・藤井厚二が設計し、聴竹居と同じく、大工・酒徳金之助により建てられました。現存する藤井厚二の作品の中では、住宅の内外だけでなく、オリジナルの家具や調度品を非常に良い状態で残しています。



八木邸

順路:京阪電車 香里園駅~八木邸見学~(タクシー)~星田ふれあいプラザ(フレスコ星田店)~コモンシティ星田街並み見学~星田ふれあいプラザ解散~(寝屋川公園駅まで徒歩18分、バス利用の場合は30分に1本程度。)
 ※八木邸の見学人数に制限があるため、**定員30名の会員優先の先着順とし、定員に達し次第申込みを締切ります。**
 またA班とB班に分かれ、時間調整をしています。
 A班の方がコモンシティ星田の見学時間が長くなります。



コモンシティ星田 街並み①



コモンシティ星田 街並み②

コモンシティ星田

敷地内の緩斜面を活かした緑道の配置や、塀・門を極力設けない外構計画等により、連続した開放的な外部空間を創りだした戸建ての住宅団地です。

元ゴルフ場25.6haに840戸を計画して作られました。
 敷地に戸建が立ち並び、地中電線で景観に配慮した街並みが形成されています。

Eメール contact@sumai-talk.info

- ◇日時: 7月20日(土) A班12時30分~17時30分頃
 B班13時30分~17時30分頃
- ◇集合場所:京阪電車「香里園」駅改札口
 A班12時30分集合 B班13時30分集合
 雨天決行 歩行距離約2Km
- ◇費用:単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
 八木邸見学料 1,000円 交通費(タクシー分乗)別途
- ◇申込み先:すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)
 E-mail:contact@sumai-talk.info
 TEL 090-7106-1591
- ◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)
 090-5046-9800(中村)

7月20日(土)

すまいをトーク参加申込書

氏名

TEL

定員30名の会員優先の先着順とし、定員に達し次第申込みを締切ります
 後日、A班かB班かを連絡させていただきます



第5回 2024年8月8日(木)

【座学】

今昔館の住まい学習

○講師：服部 麻衣 氏（大阪くらしの今昔館 学芸員）



1981年 島根県生まれ。京都市立芸術大学総合芸術学科卒業、同大学院美術研究科芸術学専攻修了。京都黎明学院京都芸術高校での勤務を経て、2008年4月から現職。学芸員として美術資料の管理、展示に携わるほか、教育普及活動に取り組む。

○講義内容

大阪くらしの今昔館では江戸時代のまちなみ展示室を舞台に、ボランティア「町家衆」の力を生かして、来館者への展示案内やワークショップ、体験講座を多数行ってきました。

大学と共同した特別なプログラムでは、その効果を検証したことで日本建築学会教育賞を受賞するなど評価につながりました。

また、2001年の開館から近年コロナ禍に至るまで、文字・音声・映像などのメディアを駆使して、多様な来館者が大阪の住まいと暮らしを学ぶために、時々に応じた細やかな手立てを講じてきました。住まいを学ぶことの面白さと難しさを、これまで実践してきた具体的な事例を交えながらご紹介します。

また、当館の展示を未だ観られていない方がおられたら、事前に体感して臨まれることを希求しています。



小学生の見学



建築プログラム



着物姿のインバウンド

- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク 事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591

◇ 相 談 窓 口：すまいに関する個別相談に対応していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



第6回 2024年9月12日(木)

【座学】

阪神間モダニズム建築と文学

○講師：堀 久樹 氏 (兵庫県ヘリテージ・マネジャー世話人)



竹中大工道具館 建築史解説担当

英語講師

趣味：囲碁・水彩画・ハーモニカ・ロードバイク他

○講義内容

「阪神間モダニズム建築と文学」建築散歩

モダニズム建築とは、近代(明治末から戦前)に造られた建築物です。阪神間の場合、鉄道の沿線開発がその発展に重要な要素となっています。

建築物ができた時代背景、設計者、西洋建築様式の影響等が、重要なファクターです。今回、拙水彩画と文学作品に描かれた建築物から、当時の阪神間モダニズム文化についてたどってみます。



甲子園ホテル(昭和初期) (山本五十六夫妻が、ビリヤードを楽しむ。創画) 拙水彩画 F6

- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク 事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇ 相 談 窓 口：すまいに関する個別相談に対応していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



第7回 2024年10月19日(土)

【見学】

高砂ロマン探訪

古くから結婚式で披露されてきた謡曲「高砂」の発祥の地として知られる高砂市高砂町。江戸時代から港町として栄え、今も当時の町割りが残っています。また、最近では、古民家をリフォームしたカフェやショップもでき、どこか懐かしい雰囲気求めて訪れる若者でにぎわっています。

●工楽松右衛門旧宅

工楽松右衛門は1743年、高砂町に生まれ、それまでの貧弱な帆布の代わりに太系の播州木綿を使った丈夫な帆布を開発し、「松右衛門帆」として海運の発展に貢献しました。旧宅は江戸後期に建てられ、迫力のある木組みや「ちょうな」で仕上げた名栗の床、舟板を使った外壁などに当時をしのぶことができます。

●高砂神社

境内に、1本の根から黒松と赤松の幹が生える「相生の松」があり、「尉(じょう)と姥(うば)」伝説が残ります。夫婦和合や良縁を願う人たちのパワースポット。

●梅ヶ枝湯

昭和18年に創業した銭湯。今も薪で湯を沸かしています。表は普通のモルタル造りですが、裏側に回れば「ジブリ」のアニメに登場しそうな外観。レンガと木組みの複雑な構造が、目を引きまします。



工楽松右衛門旧宅



高砂神社「相生の松」



梅ヶ枝湯

見学先 国鉄高砂線跡、梅ヶ枝湯、十輪寺、魚町倶楽部、旧高砂消防会館、高砂神社、工楽松右衛門旧宅、三連蔵、高砂商工会議所、花井家住宅など

- ◇日時: 10月19日(土) 13時00分~16時30分頃
◇集合場所: 山陽電鉄「高砂」駅改札口 13時00分集合
(大阪方面からは、JR明石駅で隣接の山陽電車に乗り換え)
雨天決行 歩行距離約3.5Km
◇費用: 単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
◇申込み先: すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)
E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)
090-5046-9800(中村)

Eメール contact@sumai-talk.info

10月19日(土)

すまいをトーク参加申込書

氏名

TEL

10月16日までにメールかTELをお願いします



第8回 2024年11月16日(土)

【見学】

神戸・舞子公園の文化財建築と明石海峡大橋を訪ねて

～旧木下家住宅、旧武藤山治邸、移情閣(孫文記念館)と明石海峡大橋を巡る～

○案内人：北川 弘 氏 (すまいをトーク運営委員)



1955年 大阪府生まれ 泉佐野市在住
趣味：建築、アート、音楽、映画、歴史、テニス、ギター



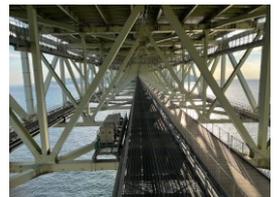
旧木下家住宅



移情閣と旧武藤山治邸



移情閣



海上プロムナードからの眺め

舞子浜は、いにしえより詩歌に詠まれてきた白砂青松の景勝地です。特に明治天皇はこの地をことのほか愛され、7回行幸されました。

兵庫県は1900(明治33)年、この地を初の県立都市公園として開園しました。その後、中国の豪商呉錦堂が別荘として建てた「移情閣」は、異国情緒豊かな建物で、松林とも調和し、舞子浜のシンボルとして親しまれてきました。そしてここに中国革命の父・孫文が亡命中に立ち寄ったことから、日中国交回復10周年を記念し、1984(昭和59)年、「孫中山記念館」(現「孫文記念館」)として開館しました。

時代は移り変わり1998年には、世界一の吊り橋(主塔間長1,991m、橋長3,991m)の明石海峡大橋が完成しました。今なお昔日の面影を偲ぶのどかな海峡風景とともに、海上約47mの橋桁の中空に設けられたプロムナードからは、迫力ある雄大な眺めを楽しむことができます。

順路：JR神戸線「舞子」駅改札口～旧木下家住宅(国登録有形文化財)～美しい松林～旧武藤山治邸(国登録有形文化財)～移情閣(重要文化財)～舞子海上プロムナード(明石海峡大橋)～橋の科学館～JR神戸線「舞子」駅17時頃解散

- ◇日 時：11月16日(土) 13時00分～17時30分頃
- ◇集合場所：JR神戸線「舞子」駅改札口 13時00分集合
雨天決行 歩行距離約3km
- ◇費用：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
別途負担金：1,000円程度(予定)(旧木下家住宅、旧武藤山治邸、移情閣、海上プロムナード、橋の科学館)
- ◇申込み先：すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)
E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)
090-5046-9800(中村)

Eメール contact@sumai-talk.info

11月16日(土)	
すまいをトーク参加申込書	
氏名	
TEL	

11月13日までにメールかTELをお願いします



2024年12月7日(土)

【オプションツアー】

摂津富田町の歴史散策

○案内人：三宅 清 氏 (摂津富田町歴史案内人)



1948年 大阪生まれ 1971年大阪府立大学卒業 同年 日東電工(株)入社
2004年 横浜国立大学 博士(工学)学位取得 2008年日東電工(株)退職
2009年 京都大学機械工学科勤務 2010年パナソニック(株),ダイセル化学(株)勤務

今城塚古墳(継体天皇御陵)や太田茶臼山古墳は、摂津富田に朝廷に米をおさめた荘園があったことを示しています。富田庄の一部は足利幕府の直轄領になり、京都武家たちとの関わりが深まり商人の町へと発展、戦国時代には蓮如が富田道場を建て、教行寺の一向宗の布教拠点として寺内町が形成されました。

江戸時代初期、富田は農作物の集散地となり豊かな伏流水に支えられ、酒造りの在郷町に発展、京坂から文人墨客が訪れました。中でも酒屋の「紅屋」清水家は、徳川家と御目見えできる家柄となり、造り酒屋「大文字屋」からは書家絵師・藤田有閑、「亀屋」からは漢詩人・入江牧水などが輩出しました。

幕府、朝廷に厚い信頼を得た劉溪は、明暦元年(1655)に明の高僧・隠元を摂津富田町の普門寺に迎え入れました。普門寺に逗留から6年後、隠元は黄檗山萬福寺に普山し、日本黄檗宗の祖となりました。後水尾法皇を初めとする皇族、幕府要人や多くの商人が帰依し、隠元は1673年4月81歳で示寂しました。富田は江戸中期以降、寺内町としての特権を失い酒造業は徐々に衰退、現在、清鶴酒造と寿酒造の2軒が残っています。

順路：JR「摂津富田」駅(13時集合)～清蓮寺～本照寺～清鶴酒造～教行寺～三輪神社～普門寺～大宅壮一顕彰碑～慶瑞寺～壽酒造～五社水路～JR「摂津富田」駅(17時頃自由解散)



普門寺



慶瑞寺



本照寺

- ◇日 時：12月7日(土) 13時00分～17時00分頃
- ◇集 合 場 所：JR京都市線「摂津富田」駅改札口 13時00分集合
雨天決行 歩行距離約4km
- ◇費 用：参加費 500円
- ◇拝観料：普門寺 500円
- ◇申 込 先：すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)
E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)
090-5046-9800(中村)

Eメール contact@sumai-talk.info

12月7日(土) オプションツアー

すまいをトーク参加申込書

氏名

TEL

12月4日までにメールかTELをお願いします



第9回 2024年12月12日(木)

【座学】

祇園祭の山鉾「鷹山」復活

○講師：末川 協 氏（末川協建築設計事務所 主宰）



1964年 京都市生まれ
 1987年 京都大学工学部建築学科卒業
 1989年 京都大学大学院工学研究科建築学教室
 修了
 同 年 株式会社 浦辺設計入社(至 2000年)
 2001年 ブータン王国 王立司法裁判所勤務
 (至 2003年)
 2004年 末川協建築設計事務所設立
 町家を中心に設計・監理を行う。

(主な役職)

- ・祇園祭山鉾装飾品等専門委員会委員(至2017年)
- ・公益財団法人「四条町大船鉾保存会」審議員
- ・公益財団法人「京都市景観・まちづくりセンター」
京町家専門相談員

○講義内容

「鷹山」は応仁の乱以前から巡行してきた由緒ある山鉾の一つです。しかし1826年(文政9年)の巡行時の大雨により大破し、翌年から休み山(巡行せず)となってしまいました。近年その復興を目指す動きが活発になり、ついに2022年、196年ぶりに復活巡行するに至りました。

本講座では、この新調「鷹山」の設計製作に深くかかわった末川協さんから祇園祭のことや製作にあたっての興味深いお話を伺います。



- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
 大阪市北区天神橋6丁目4-20
 大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク 事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info
 TEL: 090-7106-1591

◇ 相 談 窓 口：すまいに関する個別相談に対応していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



第10回 2025年1月9日(木)

【座学】

より住みよく、より美しい住宅建築を目指して

○講師：梅田 誠亮 氏 (すまいをトーク運営委員)



【略歴】

奈良県出身

昭和56年 金沢工業大学建築学科卒 同年2級建築士取得

昭和59年 ㈱梅田工務店入社 現在に至る

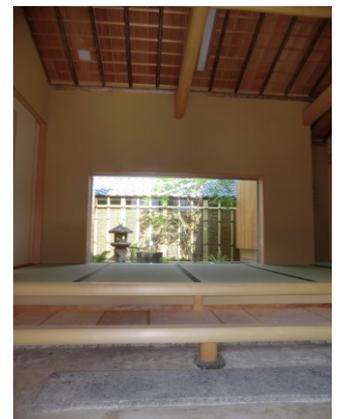
「すまいをトーク」運営委員をされている梅田誠亮さん、満を持しての登場です。

時々施工現場で氏の手掛けた住宅を見学させて頂くことがあるのですが、「これが、本当にあの梅田さんの作品なのか？」と、その洗練された美しさでセンスの良さに驚かされます。どのような閃き、技法でそのような仕上がりになるのか？氏の住宅建築に対する考え方や、多様化する現在の様式についての考え方など、施工例も含めてお話を伺います。



○講義内容

- ◆ 幼少時代～入社そして今に至るまで
- ◆ いろんな大工との出会い
- ◆ 日本の住宅建築の様式の違いの比較
- ◆ 自身の理想とする住宅建築とは
- ◆ 自身の施工例とそれにまつわるエピソード



- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
大阪メトロ谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク 事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇ 相 談 窓 口：すまいに関する個別相談に対応していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



第11回 2025年2月13日(木)

【座学】

建築士の心に残る名建物(続編)

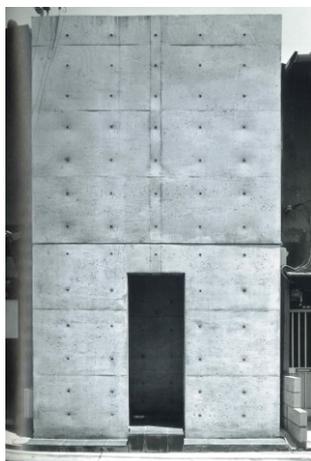
「私が選ぶベスト10選」

○講師：松村 和吉 氏(一級建築士) (株)松村設計 代表取締役



1970年大阪万国博覧会が開催された年から設計の仕事をしてきました。現在も設計の仕事です。続編では今までに見学した私の好きな建築家の自邸を中心に昭和の古き良き時代の建物を紹介したいと思います。

- 1951年 大阪生まれ
- すまいをトーク運営委員
- 大阪府建築士事務所協会第四支部 相談役
- 大阪府建築士会 「建築士の会 南河内幹事」
- 大阪府建築士会 耐震部会代表幹事
- 大阪府建築士会 地域まちづくり委員会



住吉の長屋(安藤 忠雄氏)



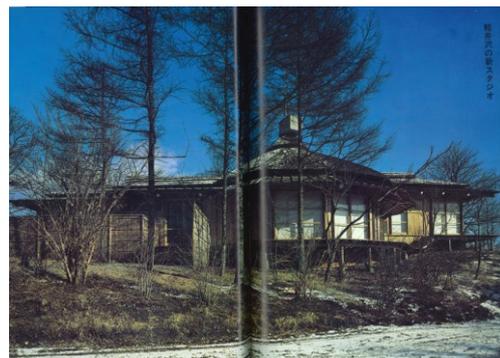
スカイハウス(菊竹 清訓氏 自邸)



塔の家(東 孝光氏 自邸)



南台町の家(吉村 順三氏 自邸)



軽井沢の新スタジオ(アントニン・レーモンド氏 事務所)

- ◇ 会 場：大阪市立住まい情報センター 5階研修室
大阪市北区天神橋6丁目4-20
地下鉄谷町線、堺筋線「天神橋筋六丁目」駅③号出口
- ◇ 時 間：18時30分～20時30分
- ◇ 参 加 費：単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
- ◇ 主 催：すまいをトーク 事務局(並平) E-mail: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇ 相 談 窓 口：すまいに関する個別相談に対応していますので、ご希望の方はお問い合わせください

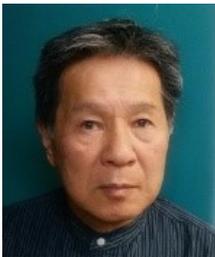


第12回 2025年3月16日(日)

【見学】

石清水八幡宮と松花堂庭園・美術館

○案内人: 松村 和吉 氏 (すまいをトーク運営委員)



- (株) 松村設計 代表取締役
- 1951年 大阪生まれ
 - 1991年 株式会社松村設計設立
 - 大阪府建築士会「建築士の会 南河内幹事」
 - 大阪府建築士事務所協会第四支部相談役
 - 大阪府建築士会耐震部会代表幹事
 - 堺市木造耐震診断員
 - 一級建築士

石清水八幡宮

平成27年10月16日の文化審議会において、古代に成立した荘厳な社殿形式を保持しつつ、近世的な装飾を兼備した完成度の高い神社建築として、高い価値を有していることが評価され、平成28年2月9日石清水八幡宮本社10棟、附棟礼3枚が国宝へと指定されました。

現在の社殿は徳川三代将軍家光の造替によるもので、日本三大八幡宮の一社であり、伊勢神宮と共に二所宗廟。現存する八幡造の本殿の中で最古かつ最大規模です。



石清水八幡宮(八幡造りご本殿) 1150年余の歴史と信仰の証



草庵「松花堂」

松花堂昭乗が隠居後に住んだ建物。広さは二畳で、茶室としての機能も備える。

松花堂庭園・美術館

石清水八幡宮の社僧で、江戸時代初期を代表する文化人・松花堂昭乗ゆかりの庭園。2万2千平方キロメートルの広大な庭園には、昭乗が暮らしていた草庵「松花堂」と泉坊書院が男山の山中より移築されている。また、昭乗ゆかりの資料を展示する美術館や、京都吉兆松花堂店も併設している。

順路:

京阪電車 石清水八幡宮駅～(ケーブル)～石清水八幡宮 (昼食各自)

ルート1 石清水八幡宮(徒歩)～六角堂～松花堂庭園・美術館(バス)～京阪電車 ぐすは駅解散

ルート2 石清水八幡宮(ケーブル)～石清水八幡宮駅(バス)～松花堂庭園・美術館(バス)～京阪電車 ぐす葉駅解散

※松花堂庭園・美術館で希望者のみ日曜茶会体験(700円)。

- ◇日時: 3月16日(日) 10時00分～17時00分頃
- ◇集合場所: 京阪電車「石清水八幡宮」駅 改札口10時00分集合
雨天決行ルート1歩行距離約3.5kmルート2歩行距離約0.5km
- ◇費用: 単回参加費 一般1,500円、学生1,000円
入場料他別途負担
(参考: 入園料・美術館1000円、ケーブル片道300円、バス片道230円)
- ◇昼食: 各自で(周辺飲食店有、お弁当持参の場合は八幡宮内の休憩所で飲食可)
- ◇申込み先: すまいをトーク事務局(並平)(要申込み)
Eメール: contact@sumai-talk.info
TEL: 090-7106-1591
- ◇当日連絡先 090-7106-1591(並平)
090-5046-9800(中村)

Eメール contact@sumai-talk.info

3月16日(土)

すまいをトーク参加申込書

氏名

TEL

3月13日までにメールかTELをお願いします